



# なまりんの 見守りネットワーク通信

Vol.15  
2024.3



バックナンバーは  
こちら(市 HP)→



発行元 吉川市要援護者見守りネットワーク・吉川市消費者安全確保地域協議会 事務局 (吉川市役所地域福祉課・商工課)  
TEL048-982-5111 (代表) FAX048-981-5392

## 見守りネットワーク協定事業所紹介

### ウエルシア薬局株式会社

吉川市内に現在2店舗を構えています！



ウエルシア薬局は、吉川市社会福祉協議会と協定を結び、令和6年1月10日より、吉川市内にて移動販売を開始しました。

移動販売車は現在全国に17台あり、埼玉県内外さまざまな市町村と協定を結んでいるとのことです。その中でも、社会福祉協議会と協定締結して移動販売を行うのは吉川市が初めてとなるそうです。

### 移動販売を始めて…

多くのお客様に買い物に来ていただいています。お客様の中には普段は店舗に足を運ぶことが難しかったり、運転免許を返納して買い物に不自由さを感じたりしている方がいらっしゃいます。移動販売を行うことにより、買い物支援はもちろんですが、気軽に立ち寄れる通いの場やコミュニティスペースとしての役割も果たすことができていると感じます。実際に買い物ついでに地域住民同士で顔を合わせ、自然と会話を交わす場面も見られました。地域の方々に喜んでいただいている印象を受けているので、運行を始めて良かったです。売れ行きが良いのは食品です。また、洗剤の詰め替え用など重いものもよく売れています。

毎週同じ曜日の同じ時間に運行していることから、お客様の様子を気にかけるようにしています。特に毎週来ていたお客様がしばらく来ないようなことがあれば、民生委員等に情報提供を行っていきます。通いの場としての役割に加え、地域の見守りとしても貢献できればと思っています。

### ◆ウエルカフェについて◆

ウエルカフェは、ウエルシア薬局から地域の皆様に「コミュニティの場」「井戸端会議の場」として提供されたフリースペースです。ウエルカフェでは、誰でも自由に地域の皆様が集い様々なことができます。日々の交流を楽しむだけでなく、イベントやサロン等が住民主体で行われており、地域住民が安心して生活を楽しむことができる場となっております。



# 要援護者見守りネットワーク連絡会を開催しました

令和5年12月4日(月)18:00~20:00 @吉川市役所 303~305 会議室

## ~連絡会の流れ~

18:00~開会

18:10~見守りネットワークの事業説明

18:40~消費生活相談員による講演  
(高齢者の消費者被害について)

19:00~協定事業所からの事例発表

19:20~グループワーク

20:00~閉会



株式会社朝日生命保険相互会社様による事例発表

## 【参加者の声】

- ・できる範囲で見守りを続け、ちょっとしたことに気を付けたい。
- ・他の事業所の顔が見える会となりました。
- ・異変に気付いた時にどこに連絡したらいいかを知っておくことがとても重要だと思いました。
- ・今後も事業所間の連携の場を！

令和5年12月4日(月)に要援護者見守りネットワーク連絡会を開催しました。市役所会場とオンラインによるハイブリッド形式にて実施しました。

当日は、吉川市消費生活センターの相談員による高齢者の消費者被害についての講演、昨年からの協定を締結していただいている朝日生命保険相互会社様による日頃からの地域の見守りについての事例発表を行いました。最後に参加した事業所でグループに分かれて意見交換を実施しました。



## 見守り声かけ実践講座(須賀・榎戸)を開催しました！

### ~声をかけ合える思いやりある地域へ~

令和6年2月17日(土)、須賀自治会館及び複合型施設吉川いろ彩にて、須賀・榎戸の地域住民のみなさんと見守り声かけ実践講座を開催しました。当日は23人が参加し、参加した方からは「認知症を自分事として考えることができた」「気になる人を見かけたら勇気をだして声かけしたい」などの声がありました。今回の講座ではオレンジカフェへの参加をプログラムに取り入れることで、須賀・榎戸地域ならではの講座となりました。オレンジカフェでは実際に認知症の方と交流することができ、認知症をより身近に感じられた機会となりました。

認知症サポーター養成講座と声かけデモンストレーションを行い、認知症に関する理解を深めました。



複合型施設吉川いろ彩にて施設見学とオレンジカフェに参加しました。施設に初めて入った方も多く、大変貴重な機会となりました。オレンジカフェでは、グループでクイズに取り組むことで、自然と笑顔が広がり、楽しい時間となりました♡



### ←振り返りにて

- ・認知症の方と普通に話ができ、認知症に対するイメージが変わった。
- ・日頃からの顔の見える関係性が大事だと感じた。
- などの意見が挙がりました。